

第14回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時

平成24年3月28日(水) 午後2時00分～午後3時00分

2. 場 所

箕面市役所 委員会室

3. 出席者

(会 長)

・箕面市副市長 伊藤哲夫

(副会長)

・箕面市地域創造部専任理事 広瀬幸平

・大阪大学大学院工学研究科教授 新田保次

(監事)

・街づくり支援センターみのお 清田栄紀

・箕面商工会議所専務理事 松出末生

(委 員)

・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦

・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登

・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部長 上村正美

・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 西山 哲

・阪急バス労働組合副執行委員長 勝 正雄

・みのおの交通を考える会 永田よう子

・粟生第二住宅自治会副会長 松本暁美

・分科会の副分科会長 井上 整

・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士

・東急不動産 SC マジメント株式会社箕面マーケットパークイワ総支配人 滝川隆文

・株式会社パルレロードビルワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春

・学校法人大阪青山学園事務部経理課長 福田貴夫

・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(総務企画) 高橋眞一

・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(輸送) 井上景之

(代理出席) 運輸企画専門官(輸送) 池垣 佳

・大阪府都市整備部交通道路室参事 藪内生死

・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治

・大阪府池田土木事務所維持管理課長 山本公一

・箕面市みどりまちづくり部長 山田 学

・大阪府箕面警察署交通課長 秋田潤一

・箕面市市長政策室長 具田利男

・箕面市健康福祉部長 小野啓輔

・箕面市教育委員会事務局教育次長 中井勝次

- ・箕面市地域創造部長 小泉正己
 - ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 浪越祐介（オブザーバー）
- （欠席）
- ・社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
 - ・自転車道ネットワーク公募市民 松木 亮
 - ・株式会社ジェット管理本部長 横山吉広
 - ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
 - ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 阪部光雄（オブザーバー）

以上、委員32名のうち28名出席、オブザーバー2名のうち1名欠席。

4. 議題

- (1) 各事業の実施結果について
- (2) 実証運行の評価について
- (3) 今後の見直しについて
- (4) 利用促進策の取り組みについて
- (5) 平成23年度収支予算の変更について
- (6) 平成24年度事業計画及び収支予算の決定について
- (7) その他

5. 議事要旨

(1) 各事業の実施結果について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

エコショッピングによるヴィソラでの回数券進呈や、お試し券の利用状況が知りたい。

ヴィソラでの回数券進呈は、月に100～150枚程度である。

無料お試し券は、4000枚配布して現段階（3月中旬）で130枚程度の利用となっている。

（有効期限は3月31日）

(2) 実証運行の評価について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

利用者数が需要予測を超える結果となっているのに、収支があまり伸びず、目標値50%を下回っているのはなぜか。

利用者数が増加したのは、見直し運行内容によって利用しやすくなり、それが徐々に周知されてきたためと考えている。詳細な分析は今後個別バス停の利用者数などを見て検討する。

収支については、収入は増加しているが、運行内容の見直しにより運行距離が延びるなど経費も増加しているため、収支率があまり向上していない。

(3) 今後の見直しについて

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

本格運行に向けては、バランスの考え方が重要で、収支率50%の目標値を目指すならば、サー

バス水準を下げ、経費の負担を少なくすることとなり、また、収支率自体の目標値を見直すならば、市の財政負担について検討することがポイントとなる。そのあたりの整理をお願いしたい。

(4) 利用促進策の取り組みについて

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

現状のデータだけで分析するやり方と、将来予測のようなもので分析するやり方があると思う。最終年度の落としどころとしてどうするか、事務局で整理していただきたい。

現在はアンケート調査等を用いて多くのデータを収集中である。例えば、高齢者、若者の利用実態やお試し乗車券の利用状況なども踏まえて、整理していく。

どうやって使っていくか、の提案をすることを考えている。行きたい場所までの具体的な時刻の情報などが得られる時刻表を作成中である。

市の方でも、市内の出張等はオレンジゆずるバスを利用するようにと通達しており、また、公共施設等にも、その独自で時刻表の作成をお願いして、実際配布している。

MM（モビリティ・マネジメント）の中でも通勤者MMが最もコストパフォーマンスが良い。乳幼児健診などでみのおライフプラザに行く際に、健診時間がバスの時間と合わないといった状況でもあるため、健康福祉課と調整して、バスの利用を高めることを検討している。

(5) 平成23年度収支予算の変更について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

この資料に料金収入はどのように反映されているのか

この資料においては、運賃収入と経費の差額を委託料として掲載しており、直接収支率等が分かるようになっていない。本格運行に向けて、運営そのものの議論をするにあたり重要な点ともなるので、わかりやすく整理する。

(6) 平成24年度事業計画及び収支予算の決定について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

平成24年度の予算額は平成23年度より2200万円増額しているが、これはなぜか。

本格運行に向けたハード的な整備、例えばバス停の新設、撤去などの経費を考慮した額となっている。また、協議会回数も増やした形の予算となっている。

(7) その他

箕面市民の豊かな生活のために、路線バスとの連携の検討をしてほしい。

以上